

# 青森県景気動向指数

平成22年10月分

先行指数	55.6%	(2か月ぶりに50%を上回った)
一致指数	50.0%	(7か月連続で50%を上回った後50%となった)
遅行指数	66.7%	(3か月ぶりに50%を上回った)

※全国の第14景気循環に相当する青森県景気基準日付(景気の谷)を  
平成21年4月として暫定設定しました。

(詳しくは7～10頁をご覧ください)

平成23年1月

青森県企画政策部統計分析課

## 1. 平成22年10月分結果概要

先行指数	55.6%	(2か月ぶりに50%を上回った)
一致指数	50.0%	(7か月連続で50%を上回った後50%となった)
遅行指数	66.7%	(3か月ぶりに50%を上回った)

10月の一致指数は、消費、金融関連の指標がプラス、物流関連の指標がマイナス、生産、雇用関連の指標がプラス・マイナス双方に割れたことから、50%となった。

## 2. 個別系列の動き

プラスの指標		マイナスの指標	
<b>先行系列</b>			
新規求人倍率(全数)	3か月連続	乗用車新車登録届出台数	2か月連続
新設住宅着工床面積	5か月連続	生産財生産指数	4か月連続
建築着工床面積	3か月ぶり	所定外労働時間指数	2か月連続
企業倒産負債額	4か月ぶり	入職率(製造業)	2か月ぶり
中小企業景況DI	7か月連続		
<b>一致系列</b>			
大型小売店販売額(既存店)	9か月連続	鉱工業生産指数	2か月連続
大口電力使用量	2か月ぶり	電気機械生産指数	7か月ぶり
有効求人数(全数)	9か月連続	総実労働時間数(全産業)	4か月ぶり
日銀券月中発行高	2か月連続	海上出入貨物量(八戸港)	8か月ぶり
<b>遅行系列</b>			
勤労者世帯家計消費支出(実質)	3か月ぶり	常用雇用指数(製造業)	14か月ぶり
単位労働コスト(製造業)	4か月連続	1人平均月間現金給与総額	3か月連続
輸入通関実績(八戸港)	4か月連続		
青森市消費者物価指数(帰属家賃除く)	4か月ぶり		

※一致系列の物流関連指標「東北自動車道IC利用台数」については、平成21年3月28日から実施された「休日のETC特別割引」(料金上限1,000円)と、平成22年6月28日から実施された「高速道路の無料化社会実験」(青森道・八戸道)による影響を受けるため、当面の間、判定に用いないこととする。

### 3. 変化方向表

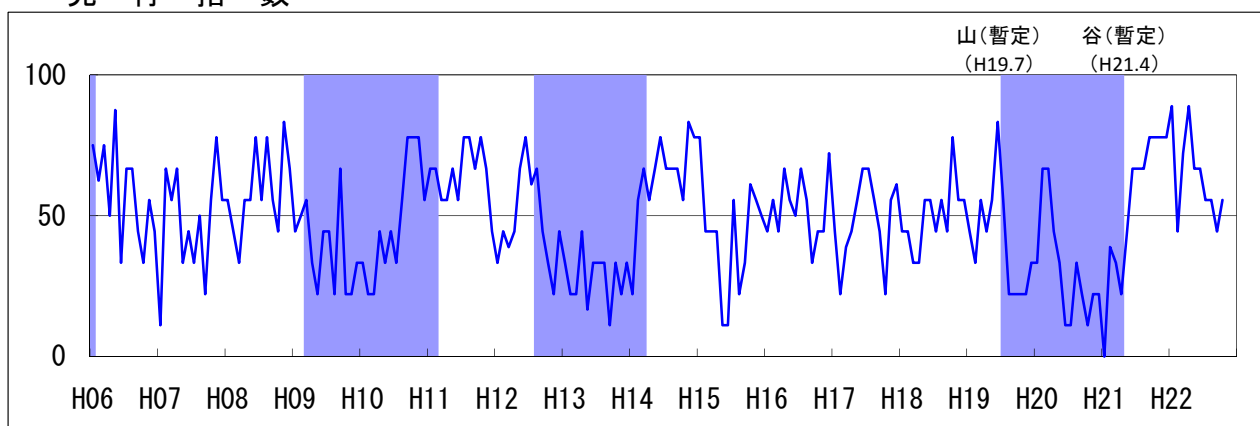
系 列 名	21年		22年										
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
<b>先 行 系 列</b>													
1. 乗用車新車登録届出台数	+	+	+	+	-	-	+	-	-	+	+	-	-
2. 生産財生産指数	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-
3. 新規求人倍率（全数）	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	+	+	+
4. 所定外労働時間指数	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-
5. 入職率（製造業）	+	-	-	+	+	-	+	+	-	-	-	+	-
6. 新設住宅着工床面積	-	+	+	+	-	+	-	-	+	+	+	+	+
7. 建築着工床面積	+	-	-	+	-	+	+	+	+	+	-	-	+
8. 企業倒産負債額	-	+	+	+	-	+	+	-	+	-	-	-	+
9. 中小企業景況D I	+	+	+	-	-	0	+	+	+	+	+	+	+
<b>先 行 指 数</b>	77.8	77.8	77.8	88.9	44.4	72.2	88.9	66.7	66.7	55.6	55.6	44.4	55.6
<b>一 致 系 列</b>													
1. 大型小売店販売額（既存店）	-	-	+	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+
2. 鉱工業生産指数	+	+	-	-	-	+	+	+	+	+	+	-	-
3. 電気機械生産指数	+	+	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	-
4. 大口電力使用量	+	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+	-	+
5. 有効求人数（全数）	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+
6. 総実労働時間数（全産業）	-	+	-	+	-	+	+	+	-	+	+	+	-
7. 海上出入貨物量（八戸港）	-	-	+	-	-	+	+	+	+	+	+	+	-
8. 東北自動車道I C利用台数													
9. 日銀券月中発行高	-	+	+	-	+	+	-	-	+	+	-	+	+
<b>一 致 指 数</b>	P	P	P	P	P	P	P	P	P	P	P	P	P
	37.5	50.0	37.5	25.0	50.0	87.5	87.5	87.5	87.5	100.0	87.5	75.0	50.0
<b>遅 行 系 列</b>													
1. 勤労者世帯家計消費支出（実質）	+	+	+	-	-	-	+	-	-	+	-	-	+
2. 常用雇用指数（製造業）	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-
3. 1人平均月間現金給与総額	+	+	+	+	+	+	+	+	-	+	-	-	-
4. 単位労働コスト（製造業）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+
5. 輸入通関実績（八戸港）	-	+	+	+	-	+	-	+	-	+	+	+	+
6. 青森市消費者物価指数（帰属家賃除く）	-	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	+
<b>遅 行 指 数</b>	50.0	83.3	83.3	66.7	50.0	66.7	66.7	66.7	33.3	83.3	50.0	50.0	66.7

※5か月前と比べて改善した指標をプラス（+）、悪化した指標をマイナス（-）としています。  
先行、一致、遅行のD Iは、それぞれの系列数のうち、プラスの指標が占める割合をあらわしています。

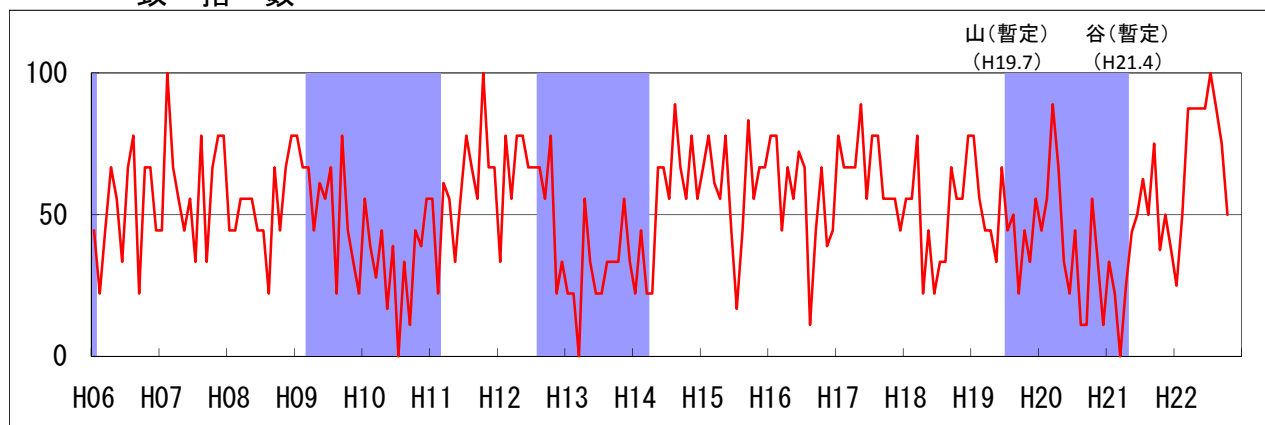
## 4. グラフ

### (1) 各指数のグラフ

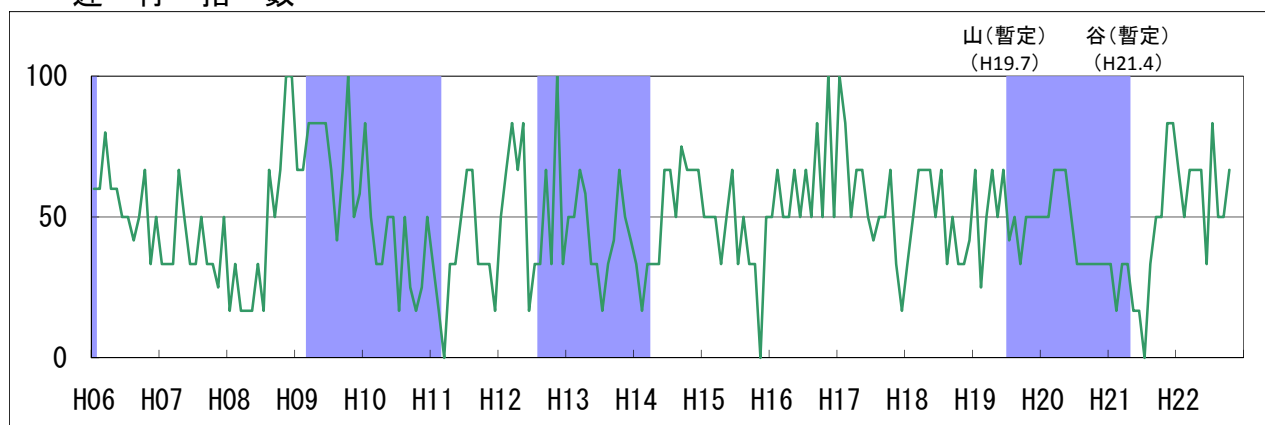
#### 先行指数



#### 一致指数



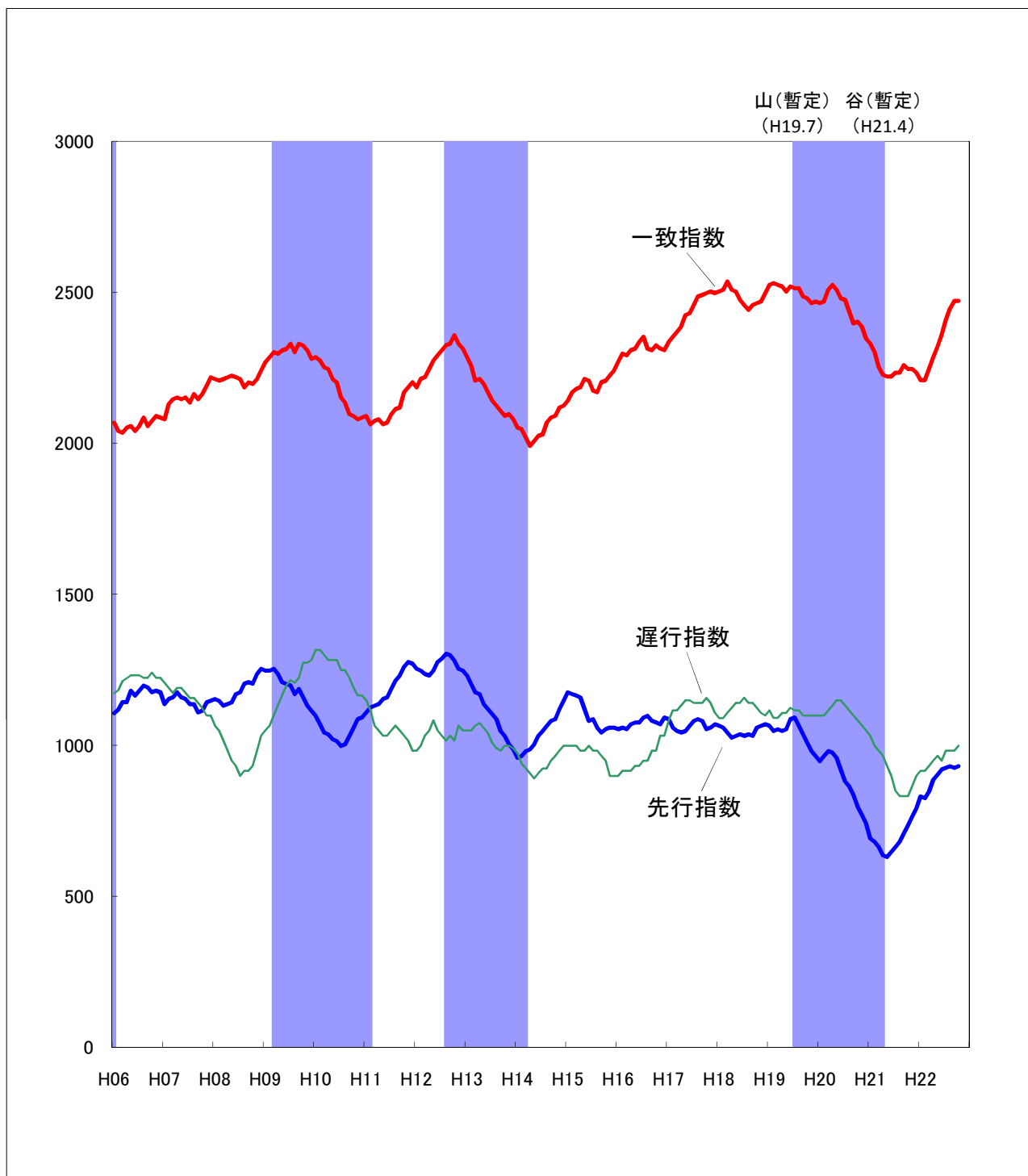
#### 遅行指数



※シャドー部分は本県景気の後退局面。

なお、平成19年7月の山、平成21年4月の谷は暫定設定である。

## (2) 累積D Iのグラフ



※累積D I = 先月までの累積D I + 今月のD I - 50 (昭和35年6月を0としています)

月々のD Iから50を引き、累積したものですから、D Iが50%を上回れば上昇、50%を下回れば下降します。

グラフにすると、景気の基調的な動きが視覚的にわかりやすくなります。

## 5. 時系列表

### 先行指数

年\月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
H08	55.6	44.4	33.3	55.6	55.6	77.8	55.6	77.8	55.6	44.4	83.3	66.7
H09	44.4	50.0	55.6	33.3	22.2	44.4	44.4	22.2	66.7	22.2	22.2	33.3
H10	33.3	22.2	22.2	44.4	33.3	44.4	33.3	55.6	77.8	77.8	77.8	55.6
H11	66.7	66.7	55.6	55.6	66.7	55.6	77.8	77.8	66.7	77.8	66.7	44.4
H12	33.3	44.4	38.9	44.4	66.7	77.8	61.1	66.7	44.4	33.3	22.2	44.4
H13	33.3	22.2	22.2	44.4	16.7	33.3	33.3	33.3	11.1	33.3	22.2	33.3
H14	22.2	55.6	66.7	55.6	66.7	77.8	66.7	66.7	66.7	55.6	83.3	77.8
H15	77.8	44.4	44.4	44.4	11.1	11.1	55.6	22.2	33.3	61.1	55.6	50.0
H16	44.4	55.6	44.4	66.7	55.6	50.0	66.7	55.6	33.3	44.4	44.4	72.2
H17	44.4	22.2	38.9	44.4	55.6	66.7	66.7	55.6	44.4	22.2	55.6	61.1
H18	44.4	44.4	33.3	33.3	55.6	55.6	44.4	55.6	44.4	77.8	55.6	55.6
H19	44.4	33.3	55.6	44.4	55.6	83.3	55.6	22.2	22.2	22.2	22.2	33.3
H20	33.3	66.7	66.7	44.4	33.3	11.1	11.1	33.3	22.2	11.1	22.2	22.2
H21	0.0	38.9	33.3	22.2	44.4	66.7	66.7	66.7	77.8	77.8	77.8	77.8
H22	88.9	44.4	72.2	88.9	66.7	66.7	55.6	55.6	44.4	55.6		

### 一致指数

年\月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
H08	44.4	44.4	55.6	55.6	55.6	44.4	44.4	22.2	66.7	44.4	66.7	77.8
H09	77.8	66.7	66.7	44.4	61.1	55.6	66.7	22.2	77.8	44.4	33.3	22.2
H10	55.6	38.9	27.8	44.4	16.7	38.9	0.0	33.3	11.1	44.4	38.9	55.6
H11	55.6	22.2	61.1	55.6	33.3	55.6	77.8	66.7	55.6	100.0	66.7	66.7
H12	33.3	77.8	55.6	77.8	77.8	66.7	66.7	66.7	55.6	77.8	22.2	33.3
H13	22.2	22.2	0.0	55.6	33.3	22.2	22.2	33.3	33.3	33.3	55.6	33.3
H14	22.2	44.4	22.2	22.2	66.7	66.7	55.6	88.9	66.7	55.6	77.8	55.6
H15	66.7	77.8	61.1	55.6	77.8	44.4	16.7	44.4	83.3	55.6	66.7	66.7
H16	77.8	77.8	44.4	66.7	55.6	72.2	66.7	11.1	44.4	66.7	38.9	44.4
H17	77.8	66.7	66.7	66.7	88.9	55.6	77.8	77.8	55.6	55.6	55.6	44.4
H18	55.6	55.6	77.8	22.2	44.4	22.2	33.3	33.3	66.7	55.6	55.6	77.8
H19	77.8	55.6	44.4	44.4	33.3	66.7	44.4	50.0	22.2	44.4	33.3	55.6
H20	44.4	55.6	88.9	66.7	33.3	22.2	44.4	11.1	11.1	55.6	33.3	11.1
H21	33.3	22.2	0.0	25.0	43.8	50.0	62.5	50.0	75.0	37.5	50.0	37.5
H22	25.0	50.0	87.5	87.5	87.5	87.5	100.0	87.5	75.0	50.0		

### 遅行指数

年\月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
H08	16.7	33.3	16.7	16.7	16.7	33.3	16.7	66.7	50.0	66.7	100.0	100.0
H09	66.7	66.7	83.3	83.3	83.3	83.3	66.7	41.7	66.7	100.0	50.0	58.3
H10	83.3	50.0	33.3	33.3	50.0	50.0	16.7	50.0	25.0	16.7	25.0	50.0
H11	33.3	16.7	0.0	33.3	33.3	50.0	66.7	66.7	33.3	33.3	33.3	16.7
H12	50.0	66.7	83.3	66.7	83.3	16.7	33.3	33.3	66.7	33.3	100.0	33.3
H13	50.0	50.0	66.7	58.3	33.3	33.3	16.7	33.3	41.7	66.7	50.0	41.7
H14	33.3	16.7	33.3	33.3	33.3	66.7	66.7	50.0	75.0	66.7	66.7	66.7
H15	50.0	50.0	50.0	33.3	50.0	66.7	33.3	50.0	33.3	33.3	0.0	50.0
H16	50.0	66.7	50.0	50.0	66.7	50.0	66.7	50.0	83.3	50.0	100.0	50.0
H17	100.0	83.3	50.0	66.7	66.7	50.0	41.7	50.0	50.0	66.7	33.3	16.7
H18	33.3	50.0	66.7	66.7	66.7	50.0	66.7	33.3	50.0	33.3	33.3	41.7
H19	66.7	25.0	50.0	66.7	50.0	66.7	41.7	50.0	33.3	50.0	50.0	50.0
H20	50.0	50.0	66.7	66.7	66.7	50.0	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3
H21	33.3	16.7	33.3	33.3	16.7	16.7	0.0	33.3	50.0	50.0	83.3	83.3
H22	66.7	50.0	66.7	66.7	66.7	33.3	83.3	50.0	50.0	66.7		

## 6. 個別系列の値

系列名			単位	22年					
				5月 (比較月)	6月	7月	8月	9月	10月
先行系列	1. 乗用車新車登録届出台数	季	台	<b>3,529</b>	3,868	4,186	4,457	3,389	<b>2,862</b>
	2. 生産財生産指数	前	%	<b>38.2</b>	41.8	17.7	26.1	8.5	<b>6.0</b>
	3. 新規求人倍率(全数)	前	%	<b>12.2</b>	6.3	21.3	9.5	18.2	<b>29.0</b>
	4. 所定外労働時間指数(全産業)	季	—	<b>89.3</b>	90.6	92.3	91.1	83.6	<b>82.0</b>
	5. 入職率(製造業)	季	%	<b>1.70</b>	0.92	1.55	1.08	1.54	<b>0.96</b>
	6. 新設住宅着工床面積	前	%	<b>△ 12.0</b>	9.0	△ 13.5	△ 0.8	18.4	<b>35.1</b>
	7. 建築着工床面積	季	m <sup>2</sup>	<b>12,777</b>	7,164	24,483	4,685	2,383	<b>40,719</b>
	8. 企業倒産負債額	季	100万円	<b>1,010</b>	1,091	3,737	1,585	6,033	<b>697</b>
	9. 中小企業景況DI	原	—	<b>△ 50.0</b>	△ 50.0	△ 50.0	△ 36.7	△ 36.7	<b>△ 40.0</b>
一致系列	1. 大型小売店販売額(既存店)	原	%	<b>△ 3.3</b>	0.0	△ 2.2	0.5	1.1	<b>2.3</b>
	2. 鉱工業生産指数	季	—	<b>110.2</b>	100.2	107.5	104.3	99.8	<b>94.8</b>
	3. 電気機械生産指数	季	—	<b>162.0</b>	133.3	148.9	154.0	167.8	<b>145.6</b>
	4. 大口電力使用量	季	1000kw	<b>206,637</b>	227,919	235,786	239,640	225,602	<b>215,105</b>
	5. 有効求人数(全数)	季	人	<b>12,354</b>	13,230	13,967	14,275	14,485	<b>15,105</b>
	6. 総実労働時間数(全産業)	季	時間	<b>155.4</b>	154.8	154.9	155.8	155.8	<b>154.0</b>
	7. 海上出入貨物量(八戸港)	季	1000t	<b>2,324</b>	2,179	2,070	2,383	2,087	<b>2,178</b>
	8. 東北自動車道IC利用台数	季	100台						
	9. 日銀券月中発行高	前	%	<b>△ 32.7</b>	16.2	67.1	19.4	△ 2.1	<b>1.5</b>
遅行系列	1. 勤労者世帯家計消費支出(実質)	季	円	<b>246,934</b>	242,963	252,230	258,294	236,355	<b>298,012</b>
	2. 常用雇用指数(製造業)	前	%	<b>2.2</b>	1.9	2.2	2.0	2.2	<b>0.5</b>
	3. 1人平均月間現金給与総額	前	%	<b>2.4</b>	1.2	2.1	2.9	1.6	<b>0.5</b>
	4. 単位労働コスト(製造業)	前	%	<b>△ 14.2</b>	△ 10.4	△ 2.2	△ 1.4	1.0	<b>2.3</b>
	5. 輸入通関実績(八戸港)	季	100万円	<b>10,788</b>	10,247	8,359	12,824	7,831	<b>12,237</b>
	6. 青森市消費者物価指数(帰属家賃除く)	前	%	<b>△ 0.3</b>	0.0	△ 1.1	△ 1.4	△ 1.3	<b>0.5</b>

季=センサス局法X-12-ARIMAによる季節調整値

前=前年同月比

原=原データ

※季節調整値と前年同月比は、統計分析課において計算したものです。  
従って、他の報告書等で公表された数字とは異なりますので、ご注意ください。

## (参考1) 景気動向指数について

### ① 青森県景気動向指数について

(沿革)

昭和56～57年度に開発（昭和35年まで遡及）

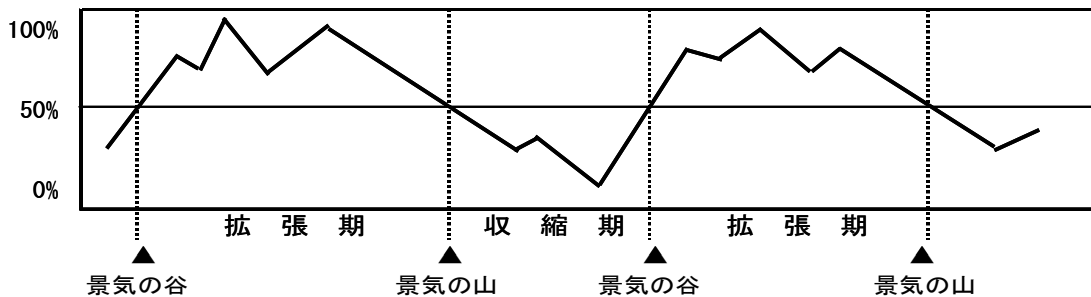
(目的)

1. 景気の転換点を見いだす手がかりとする。
2. 景気の局面を、客観的、継続的に判断するとともに、景気の先行きを判断する手がかりとする。
3. 地域固有の変動パターンや、全国とのリード・ラグを明らかにする。

### ② 景気動向指数（DI）の見方

1. DIは、0から100%の間で変動する。
2. DIが、50%ラインを上回っている期間が景気の拡張期（好況）であり、50%ラインを下回っている期間が景気の収縮期（不況）である。
3. DIが、50%ラインを上から下に切る時点が「景気の山」（拡張期から収縮期への転換点）、50%ラインを下から上に切る時点が「景気の谷」（収縮期から拡張期への転換点）である。

### ③ DIの動きと景気の局面



### ④ 青森県と全国の景気基準日付一覧表

循環区分 (国)	青森県					全国				
	山	谷	拡張期間	後退期間	全循環	山	谷	拡張期間	後退期間	全循環
4	S37.6	S37.12		6か月		S36.12	S37.10	42か月	10か月	52か月
5	S39.2	S40.1	14か月	11か月	25か月	S39.10	S40.10	24か月	12か月	36か月
	S44.1	S44.9	48か月	8か月	56か月					
6	S46.2	S47.4	17か月	14か月	31か月	S45.7	S46.12	57か月	17か月	74か月
7	S48.9	S50.3	17か月	18か月	35か月	S48.11	S50.3	23か月	16か月	39か月
8	S51.12	S53.3	21か月	15か月	36か月	S52.1	S52.10	22か月	9か月	31か月
9	S55.1	S57.3	22か月	26か月	48か月	S55.2	S58.2	28か月	36か月	64か月
10	S60.4	S62.3	37か月	23か月	60か月	S60.6	S61.11	28か月	17か月	45か月
11	H3.3	H6.1	48か月	34か月	82か月	H3.2	H5.10	51か月	32か月	83か月
12	H9.3	H11.2	38か月	23か月	61か月	H9.5	H11.1	43か月	20か月	63か月
13	H12.8	H14.3	18か月	19か月	37か月	H12.11	H14.1	22か月	14か月	36か月
14	(H19.7)	(H21.4)	(64か月)	(21か月)	(85か月)	(H19.10)	(H21.3)	(69か月)	(17か月)	(86か月)

※（ ）は暫定設定。

※全国のは内閣府経済社会総合研究所公表資料による。



## (参考2) 青森県景気動向指数採用系列の概要

	分野	系列名		作成機関	資料出所	備考
先行系列	消費	1. 乗用車新車登録届出台数	季	青森県自動車会議所	「自動車登録状況新車月報」	普通＋小型＋軽乗用
	生産	2. 生産財生産指数	前	県統計分析課	「鉱工業生産指数」	2005年=100
	雇用	3. 新規求人倍率（全数）	前	青森労働局職業安定部	「職業安定業務取扱月報」	
		4. 所定外労働時間指数	季	県統計分析課	「毎月勤労統計調査」	30人以上、全産業 2005年=100
		5. 入職率（製造業）	季	県統計分析課	「毎月勤労統計調査」	30人以上、製造業
	投資	6. 新設住宅着工床面積	前	県建築住宅課	「建築着工統計月報」	
		7. 建築着工床面積	季	県建築住宅課	「建築着工統計月報」	鉱業・建設業用＋製造業用＋卸売・小売業用＋金融・保険業用＋不動産業用＋飲食店、宿泊業用
	企業活動	8. 企業倒産負債額	季	東京商工リサーチ青森・八戸支店	「青森県企業倒産状況」	負債総額1千万円以上 逆サイクル
		9. 中小企業景況DI	原	青森県中小企業団体中央会	「中小企業あおもり」	前年同月と比べた景況感
一致系列	消費	1. 大型小売店販売額（既存店）	原	東北経済産業局	「東北地域大型小売店販売額動向」	既存店前年同月比
	生産	2. 鉱工業生産指数	季	県統計分析課	「鉱工業生産指数」	2005年=100
		3. 電気機械生産指数	季	県統計分析課	「鉱工業生産指数」	2005年=100
		4. 大口電力使用量	季	東北電力青森支店	「電力需要月報」	
	雇用	5. 有効求人人数（全数）	季	青森労働局職業安定部	「職業安定業務取扱月報」	
		6. 総実労働時間数（全産業）	季	県統計分析課	「毎月勤労統計調査」	
	物流	7. 海上出入貨物量（八戸港）	季	県八戸港管理所		一般貨物＋フェリーによる車両
		8. 東北自動車道IC利用台数	季	東日本高速道路（株）		青森県内インターチェンジにおける出入車両数の合計
	金融	9. 日銀券月中発行高	前	日本銀行青森支店	「県内金融経済概況」	
遅行系列	消費	1. 勤労者世帯家計消費支出	季	総務省	「家計調査」	青森市消費者物価指数により実質化
	雇用	2. 常用雇用指数（製造業）	前	県統計分析課	「毎月勤労統計調査」	30人以上、製造業 2005年=100
		3. 1人平均月間現金給与総額	前	県統計分析課	「毎月勤労統計調査」	30人以上、全産業
	企業活動	4. 単位労働コスト（製造業）	前	県統計分析課	「鉱工業生産指数」 「毎月勤労統計調査」	常用雇用指数×定期給与指数 ／製造工業生産指数
	物流	5. 輸入通関実績（八戸港）	季	八戸税関支署	「八戸税関支署貿易概況」	
	物価	6. 青森市消費者物価指数（帰属家賃除く）	前	総務省	「消費者物価指数」	

※季＝センサス局法X-12-ARIMAによる季節調整値、前＝前年同月比、原＝原データ

※東北自動車道IC利用台数について、平成14年7月分から八戸北IC分、平成15年9月から青森中央IC、青森東IC分を含んでいます。

※建築着工床面積については、建築物用途分類が改定されたため、平成15年4月分まで新分類による遡及改定を行った。

(参考3) 青森県景気動向指数採用系列の変遷

系 列 名		採 用 期 間	
先 行 系 列	乗用車新車登録台数	S42.9	H5.12
	○乗用車新車登録届出台数		H6.1
	百貨店販売額(売場面積当・実質)	S46.6	S56.12
	勤労者世帯家計消費支出(実質)	S38.8	S56.12
	窯業・土石製品生産指数	S37.9	S56.12
	パルプ・紙生産指数	S57.1	H5.12
	○生産財生産指数		H6.1
	新規求人数(常用)	S37.9	S56.12
	新規求人倍率(常用)	S57.1	H5.12
	○新規求人倍率(全数)		H6.1
	○所定外労働時間指数(全産業)		H6.1
	所定外労働時間数(製造業)	S50.1	S56.12
	○入職率(製造業)	S35.6	S49.12
	新設住宅着工戸数	S57.1	H5.12
	○新設住宅着工床面積		H6.1
	○建築着工床面積		H6.1
	企業倒産件数	S57.1	H5.12
	○企業倒産負債額		H6.1
	○中小企業景況DI		H6.1
	一 致 系 列	取引停止処分(枚数)	S35.9
日経商品指数		S57.1	H5.12
株式売買高		S57.1	H5.12
信金・労金貸出残高		S36.6	H5.12
不渡手形発生率(金額)		S35.6	S56.12
○大型小売店販売額(既存店前年同月比)			H6.1
百貨店販売額(実質)		S57.1	H5.12
○鉱工業生産指数		S35.6	
○電気機械生産指数		S57.1	
木材・木製品生産指数		S35.6	S56.12
食料品工業生産指数	S35.6	S56.12	
遅 行 系 列	○大口電力使用量	S35.6	
	新規求人倍率	S37.9	S50.12
	有効求人数(常用)	S51.1	H5.12
	○有効求人倍率(全数)		H6.1
	○総実労働時間数(全産業)		H6.1
	所定外労働時間数(製造業)	S35.6	S49.12
	入職率(製造業)	S50.1	H5.12
	新設住宅着工床面積	S35.6	S56.12
	建築着工床面積(鉱工業用)	S35.6	H5.12
	○海上出入貨物量(八戸港)		H6.1
○東北自動車道IC利用台数		H6.1	
○日銀券月中発行高		H6.1	
遅 行 系 列	○勤労者世帯家計消費支出(実質)		H6.1
	有効求人数(常用)	S37.9	S50.12
	雇用保険受給者実人員	S57.1	H5.12
	○1人平均月間現金給与総額(全産業)		H6.1
	総実労働時間数(製造業)	S57.1	H5.12
	○常用雇用指数(製造業)	S35.6	S49.12
	離職率(製造業)	S50.1	S56.12
	法人事業税調定額	S41.9	S56.12
	人件費比率(製造業)	S35.6	S56.12
	○単位労働コスト(製造業)	S57.1	
営業倉庫保管残高	S35.6	S56.12	
信用保証申込金額	S57.1	H5.12	
○輸入通関実績(八戸港)	S57.1		
○消費者物価指数	S39.8		
預貸率	S35.6	S56.12	

※○印のついた系列は、現時点で採用している系列。

## (参考4) 季節調整法 X-12-ARIMAによるARIMAモデル等一覧

データ名	期間	ARIMAモデル	回帰変数	異常値(ao)
乗用車新車登録届出台数	1990-2009	(112) (012)	td	なし
所定外労働時間指数	1990-2009	(012) (011)	指定なし	なし
入職率(製造業)	1990-2009	(011) (211)	指定なし	なし
建築着工床面積	1990-2009	(112) (111)	指定なし	2007/10
企業倒産負債額	1990-2009	(011) (012)	指定なし	なし
大口電力使用量	1990-2009	(012) (011)	lpyear	1994/1
有効求人数(全数)	1990-2009	(012) (012)	td1nolpyear	1990/10、1990/11、1991/3
総実労働時間数(全産業)	1990-2009	(112) (011)	tdnolpyear	なし
海上出入貨物量(八戸港)	1990-2009	(012) (211)	td	なし
東北自動車道IC利用台数	1990-2009	(111) (012)	lpyear	なし
勤労者世帯家計消費支出	1990-2009	(112) (011)	指定なし	なし
輸入通関実績(八戸港)	1990-2009	(111) (011)	td1coef	なし
青森市消費者物価指数(帰属家賃除く)	1990-2009	(212) (012)	指定なし	なし

※鉱工業生産指数と電気機械生産指数は、公表された季節調整値をそのまま使用しています。

※消費者物価指数(帰属家賃除く)の季節調整値は、勤労者世帯消費家計支出の実質化に使用しています。

### <スペックファイル例>

```
series{
  title="*****"
  start=1990.1
  file="d:\arima\dat\010101.txt"
  span=(1990.1, 2009.12)
}
transform{function=log}
arima{model=(1 1 2) (0 1 2)}
regression{variables=(
td) }
estimate{ }
forecast{maxlead=60}
x11{appendfcst=yes
  save=(d11 d16)
}
history{estimates=sadjchng}
```

### <ARIMAモデルの決定方法及び回帰変数の組合せ等に関する参考文献>

- ① 奥本佳伸(経済企画庁経済研究所編)『季節調整法の比較研究』(大蔵省印刷局 2000.06)
- ② 奥本佳伸『季節調整法センサス局法 X-12-ARIMA の適用における日本型曜日調整の有効性』(千葉大学経済研究 第16巻第1号 2001.06)

問い合わせ先  
〒030-8570 青森市長島1丁目1-1  
青森県企画政策部統計分析課  
統計情報分析グループ  
TEL 017-734-9166(直通)  
E-mail [tokei@pref.aomori.lg.jp](mailto:tokei@pref.aomori.lg.jp)